

# みつぎ便り

見次の会

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと  
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに  
所属しているボランティア団体です

102号  
3月号

平成27年3月1日

<http://itbs-ecopo.jp/projects/environsurvey/2015/000253.htm>

## キズイセン（黄水仙）

三寒四温の今日この頃、公園のベンチの日溜まりも日に日に過ぎしやすい場所となっているようです。桃の節句、雛祭りの行事も終わると、春のお彼岸ももうすぐです。公園の花壇の草花たちも色鮮やかに咲きだしています。

公園のバス通り側の花壇にはこの時期、白や黄色のスイセン（水仙）が咲いています。白いニホンズイセンが一足先に咲き始め、その少し後を追うように黄色い八重の花（キズイセン）が咲き出します。

スイセンはヒガンバナ科の間で葉、茎、鱗茎などすべてに、ヒガンバナと同様に毒性があり、特に葉の部分をニラ、アサツキなどと間違えて食べないように注意が必要です。

スイセン（水仙）は中国の古典に由来して、水辺に咲く姿を仙人にたとえたといわれています。

花言葉の「うぬぼれ」「自己愛」は、ギリシャ神話の水鏡に映った自分の姿に恋してスイセンに

なってしまう美少年、ナルキッソスの話から由来しています。

原産地は地中海などから中国を渡来して日本の環境にもなじみ、品種改良されたものが広く栽培され園芸用に多くの種類が出回っています。

皆様もぜひ自宅で植えて、楽しんで見てはいかがでしょうか。（圭）



花盗人は、罪です許されません

狂言に、桜の枝を手折り、木に縛り付けられた男の話があります。どうか盗んでいった人は、自分の手を縛ってください。

先日、公園の花壇のランキンユラス（先月号に掲載）とクリス



マスローズが、咲いている花の根元から切り取られ、持ち去られました。見次の会の会員が、日々、心を込めて手入れをし、訪れる多くの皆さんに少しでも楽しんでいただきたいと育てているそんな花を！なんと悲しいことでしょうか。とても残念です！こんな卑劣な行為を幾人かの人が見ていました。物を大切に、生き物を大切にすることは、人間を、そして自分の心を大切にすることです。このようなことが、二度と起こらないことを願います。見次公園を訪れる人々に、花のある憩いの場所となるように、皆さんと一緒に育んでいきたいと思えます。今後ともご協力よろしくお願ひします。（静）